

音紡ぎ人とつながる



盛岡シティプラスと県立大吹奏楽サークルの合同練習の様子(盛岡市上田公民館)

県大吹奏楽サークルと共演

盛岡シティ
プラス 4日に第31回定期演奏会

盛岡シティプラス(大村知正団長、団員約40人)の第31回定期演奏会は4日、盛岡市民文化ホール(マリオス内、盛岡市盛岡駅西通2の9の1)大ホールで開かれる。第47回盛岡芸術祭吹奏楽部門。県立大吹奏楽サークルとの合同演奏などのプログラムで、同団の目指す「音を紡いで人とつながる」音楽を届ける。

今年からは若手団員らで定期演奏会のプロジェクトチームを組織し、選曲、演出、タイムテーブルの調整などを主体となつて考案した。

演奏会は3部構成。第1部は盛岡シティプラスステージとして、「無伴奏バイオリン・パルティータ第2番ニ短調BWV1004より『シャコンヌ』(J・S・バッハ)などを演奏。第2部は県立大

吹奏楽サークルステージで、「民衆を導く自由の女神」(樽屋雅徳)などを披露する。第3部は合同ステージ。約70人の大編成となり、映画音楽やジャズ、クラシックなどを幅広いジャンルの音楽を演奏する。

県立大吹奏楽サークルの顧問がシティプラスOBであったことから、今回初めて共演が実現した。

学生指揮の菊池聖人さん(21)は「音楽を少しでもやりたい人が自由に参加する、敷居の低いサークル。共演することで足りない部分が補完され、より充実した音楽に触れる時間を生み出していただいて」と共演を歓迎する。「この機会を楽しみ、この機会を音楽の楽しさにお客さま

を巻き込みたい」と意気込んだ。

プロジェクトチームの金本凌さん(25)は「過去の演奏会アンケートも参考に、広く知られた曲も演奏して、皆さんに楽しんでもらいたい」と思っている。大学生との共演とあり年代も近く、より大きな社会人バンドになった感じ」と語る。「いろんな縁が繋がっての共演。演奏会でも音楽を聴いている人の心に響かせ、お客さんとのつながりも生み出せたら」と本番を見据えた。

午後2時開演(開場は同1時半)。チケットは中高生300円(当日500円)、一般500円(同700円)、小学生以下無料。川徳、おどつて、マリオスなどで購入できる。問い合わせは県立大(電